

平成30年度 学校経営計画

1 学校教育目標

「英知を養い、進取の気象をはぐくむ」「友情を重んじ、豊かな感性を養う」「体力を培い、節度ある態度を育てる」を教育目標として、教師と生徒・保護者が一体となって、活力ある学校づくりをめざす。

2 学校の特徴

本校は、21世紀を見据えた有為な生徒の育成と、地域に開かれた学校づくりを目指して開校した。その中核の一つである音楽コースは県内唯一の芸術コースであり、その存在により校舎内にはたえず音楽の調べが流れ、芸術的文化的な薫り豊かな学園となっている。そして、広い敷地と余裕のある校舎配置による校舎内外の環境が、芸術を通して豊かな情操と国際化時代に対応した進取の気象を育むに相応しいものとなっている。音楽コースが学校全体に醸し出す清澄な雰囲気、情操豊かで創造的な生徒の育成に大いに寄与している。

3 学校の現状と課題

本校は創立以来、本校の「教育目標」「教育方針」および「学校経営計画」に基づいた特色ある教育を実践し、それによって社会に有為な人材を輩出する学校として地域にも認められてきた。

しかし、創立から30余年を経過し、学校も成熟期に入り落ち着いてきて、生徒についても概して大人しく素直であると好感を持って評されるが、草創期における何事にも必死に取り組んでいた生徒の旺盛な進取の気象については、現状として物足りなさを感じるものとなっている。国内外の社会情勢が変化し厳しさを増す中で、変容し続ける生徒自身に的確に対応した教育、指導を絶えず模索、実践することによって、本校の教育目標を常に高く実現していかなければならない。

当面の目標として以下の点を掲げ、その達成をめざして実践していくこととする。

- ①学校行事の見直しや施設設備のあるべき姿について再検討し、活力ある校風づくりに努める。
- ②基礎学力の一層の充実を図る。
- ③文化活動、運動活動や学校行事を通して、活気ある生徒、心豊かな生徒の育成に努める。
- ④自発的に学習する態度や節度ある態度、主体的な行動力を育む。
- ⑤悩みを持つ生徒に対しての支援を強化する。

また、生徒・保護者・教職員が一同に会して話し合う SPTA を活用して、相互の理解と連携を深め、芸術祭などの行事に協同して取り組み、建学時からの目標とする芸術・文化の薫り高い創造性を育む学校づくりを進めていき、さらに生き生きとした進取の気象を育む学校づくりの取り組みによって、社会に一層有為な人材を輩出し続ける学校を目指さなければならない。